

上船雅義先生がNHKの「生きもの“超・進化論”ワールド」の撮影支援を行いました。

生物資源学科の上船雅義先生が、令和5年1月7日（土）午後7：30～8：15に放送された、NHKスペシャル「生きもの“超・進化論”ワールド ～キッズ&ティーンズ特別編～」の撮影支援を行いました。内容は、植物が匂いを使って昆虫や他の植物と会話するという話題です。具体的には、キャベツがモンシロチョウやコナガの幼虫に食害されると特別な匂いを放出して、天敵であるサムライコマユバチ類を呼び寄せたり、周囲のキャベツに危険を知らせたりするというものです。上船先生は12月の番組収録に合わせて下記実験装置を東京に送り、ご自身も番組収録に立ち会い（姿は出ませんでした）、堺雅人さんらに実際に食害されたキャベツが放出する匂いをかいでもらいました。

下記の文章は上船先生の収録の感想です。この番組シリーズでは植物、昆虫、キノコやカビ、細菌類まで取り上げ、生物間のネットワークや生物の多様性を解説する素晴らしい内容になっています。



NHKスペシャルの生きもの“超・進化論”ワールド～キッズ&ティーンズ特別編～において、植物の会話を聞くシーンの撮影をサポートしました。

食害植物を嗅いでもらう方法の検討と提案を行い、撮影に必要なキャベツ、コナガ幼虫、セパラブルフラスコを準備しました。撮影現場では、撮影の間に容器や植物の交換も行いました。撮影には使用されませんでしたでしたが、コナガ食害キャベツだけでなく、健全キャベツ、ハスモンヨトウ食害ナス、健全ナスも準備して、想定される要望を実現できるように撮影に入りました。

自分の研究分野の面白さをテレビ番組で伝えていただくことに少しでも貢献できたので嬉しく思います。

上船雅義